



希望のもてる東京へ

日本共産党
前区議会議員

せいの恵子 都政レポート

No.002 2024年9月号

発行・日本共産党・せいの恵子事務所
〒115-0042 北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

埼京線にホームドアを早く

JR東日本、国交省に要請

8月30日、日本共産党北区議員団、そねはじめ都議、田原聖子衆院東京12区国民運動部長らと、JR埼京線へのホームドア早期設置や無人改札の解消を求め、国交省、JR東日本に要請を行いました。

要請には、小池晃参院議員・党書記局長と吉良よし子、伊藤岳の両参院議員、米倉春奈都議も同席しました。

最初に、埼京線全駅への速やかなホームドア設置、ホームへの安全人員の配置、無人改札への人員配置などを求める要望書を、JRの担当者に提出しました。

私は、「ホームでは朝夕のラッシュで人があふれ、一步間違えると転落の危険がある。利用者が安心安全に移動できるようにすべきだ」と発言しました。

JRは、りんかい線の車両入れ替えが進む2026、27年以降にホームドアの整備を順次進める」とのべました。



落下の危険と隣り合わせの十条駅ホーム



やっぱり平和が一番

平和のための北区戦争展

8月24・25日に北とぴあで開かれた戦争展に参加。満州からの引揚者の壮絶な体験を聞き、平和の大切さを痛感しました。



学費・子育てトーク

真ん中世代交流会

日本共産党がよびかけた「真ん中世代交流会」。子育て世代のみなさんとお話する中で、生きづらい社会の実態が浮き彫りに。

先日、30代から50代の皆さんと話し合う機会がありました。その時に話題になったのは、大学の学費と奨学金。「学費が高くてバイト代だけでなんとかできる時代は終わった」、「奨学金返済の負担が重く、自己破産を考える人もいる」、「未成年の中でも分断や格差が広がっている」など、自らの経験や子育て中の親としての実感が出されました。今、大学生の半

若い人が将来に希望を持てる社会に

数が奨学金を利用し、その貸与総額の平均は324万円にもなります。多くの人が大学卒業後に奨学金という借金を背負い、13〜20年という長期間にわたって返済を続けなければなりません。私は、若い人が将来に希望を持てない社会を変えていきたい。収入や環境での格差をなくし、高等教育無償化や給付型奨学金の拡充を求めています。



せいの恵子の
千思万考

ご相談は お気軽に

お困りごと、ご相談があれば、田原聖子・せいの恵子事務所まで、お気軽にご連絡下さい。

TOKYO | 12 HAUS

日本共産党田原聖子(国政)
せいの恵子(都政)事務所
〒115-0042 北区志茂2-53-7
電話 03-5939-6581
FAX 03-5939-6582